

# えがお



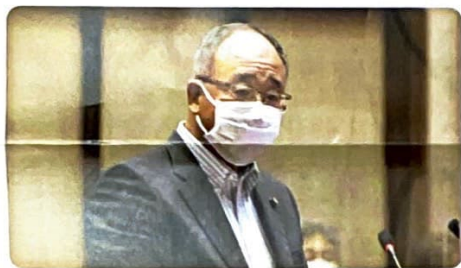
発行・甲斐高之

連絡先・大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288

自宅・大分市判田台南3丁目13-5 TEL・FAX097-597-6889 〆taka7793@oct-net.ne.jp



## 第3回定例会にて一般質問に立つ



9月1日(木)から27日(火)まで行われた大分市議会第3回定例会。私の一般質問の内容とともに、「物価高」や「コロナ禍」への対策等の補正予算案や議案、市政の情報などについてご報告いたします。

いまだにロシアによるウクライナへの侵略が続いています。**戦争は最大の人権侵害です。どんな理由があろうとも武力行使には反対です。NO WAR! 世界中の人々に平和な日常を!**

**甲斐たかゆき** **検索** でHPにもぜひお立ち寄りください。これまでの質問の詳しい内容や活動等がご覧になれます。



### 駅周辺整備に関する事業について

### 地域のみなさんの笑顔につなげる!

駅周辺整備と地域振興策が連動することが大切なキーワードになる。今後、駅前広場を整備するにあたって、駅利用者の利便性向上と高齢者や障がい者等の送迎、駅周辺の渋滞緩和等に配慮し、駐車場などの機能が重要である。駅前広場に必要と考える機能の見解、そして今後の駅周辺整備の基本構想策定に向けてのスケジュールを質問した。

◎都市計画部部長答弁(一部抜粋・要約) 駅前広場には自動車、タクシー、バスの乗降場、駐車場や駐輪場など、利用者の円滑な乗り換えを可能とする交通結節機能のほか、地域活性化の観点から市民交流や賑わいなどを創出する機能も必要と考える。今後も地元の皆様と勉強会を重ねるとともに関係機関と連携を図る中で、今年度末までに基本的な整備方針を掲げた基本構想を取りまとめ、その後、駅前広場やアクセス道路の都市計画決定を行い、基本計画の作成を進めていく。



「基本構想」をまとめようとしている中判田駅前にて(同様に鶴崎駅、滝尾駅でも「基本構想」を策定中)

【甲斐の思い】中判田駅周辺整備には、国道10号の拡幅工事や大南地区スポーツ施設建設(判田校区側からの車輛通行可能な道路の新設)、駅周辺のアクセス道路の再整備、(仮称)中判田駅判田台線整備事業など、さまざまな整備事業が連動している。相互に関連性を持たせて計画的に取り組んでいく必要がある。これまでも提案してきたが**判田郵便局の移転(駅舎に併設等)**を行い、国道10号からの進入路確保と駅の新たな運営を実現することが重要だ。そして、**鉄道駅には「駅員さん」の存在が不可欠**である。スマイルサポートステーションが大切だ。

### 市立認定こども園について

### 子育て支援そして子どもたちの笑顔のために!

「大分市立幼稚園及び保育所の在り方の方針」を見直すべきという声を一部に聞くと、各地区の拠点施設として市内全域に等しく公立の幼児教育や保育サービスを提供する役割は、方針策定当時から大切にされてきた不変的なものである。少子化が進む状況を考慮すると公立の施設は必要であり、今この方針を見直す必要はない。今後の市立認定こども園の設置に向けた考え方などを質問した。

◎子どもすこやか部部長答弁(一部抜粋・要約)

「在り方の方針」に基づき市立幼稚園及び保育所の再編を進め、地域における幼児教育・保育の拠点施設としての役割を果たすべく、市立認定こども園の設置を進めてきた。今後は、少子化の進行や幼児教育・保育ニーズの動向等、長期的な視点から将来にわたる本市の幼児教育・保育の在り方を見定め、地域ごとの課題を整理しながら慎重に検討していく。

【甲斐の思い】民間事業者の代表等も参加し検討委員会を立ち上げ、答申を経て、「在り方の方針」を策定し、市立認定こども園化を進めてきた。議会に対しても、これらの方針と経過を説明してきた。今後とも「**在り方の方針**」等を踏まえ、関係者のみならず、地元の声や将来的な保護者ニーズに応えられるよう、丁寧かつある程度のスピード感を持って取り組むことが重要である。**市民サービスの向上を最優先して、各地区公民館区域に市立認定こども園の13園設置が必須**である。

## 一般議案

### ◎市税条例の一部改正

寄付金税額控除の対象となる特定非営利活動法人に対する寄付金について、控除の対象となる期間を令和9年まで5年間更新します。

### ◎市立幼稚園条例の一部改正

市立幼稚園の休園・統廃合基準により、園児が3年連続14人以下ということから、松岡幼稚園と東植田幼稚園を廃園とします。(会派：預かり保育等実施を要望し苦渋の判断です。)



東植田幼稚園

**意見書** 今回、採択された意見書はありませんでした。

### 〈わが会派等から提出したが、不採択・継続になった意見書〉

#### ◎新型コロナウイルス感染症の後遺症及びワクチン後遺症への対応強化を求める意見書

感染症及びワクチンの後遺症で悩む患者の相談や支援などの対応強化を求めるものです。

#### ◎安倍晋三元首相の国葬に反対し、弔意の強制を行わないことを求める意見書(立民クラブより)

安倍元首相の国葬に反対し、国民に弔意の強制を行わないことをもとめるものです。

#### ◎教職員が保護者や地域とつながり地域に根ざした学校教育活動が出来るための環境づくりを求める意見書の提出を求める請願(継続)

採用後10年間程、広域で短期間に頻繁に異動する人事ルールを実施しないことを求めるものです。

#### **決算審査の結果** 前年度(2021年度)の決算審査と事務事業評価を行いました。

一般会計の歳入は2113億2600万円、歳出は2040億820万円であり、差し引きの形式収支では73億1800万円の黒字です。黒字の中から翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支は66億289万円の黒字です。

歳入は市税収入が791億6760万円で全収入の37.4%を占め、手数料なども含む自主財源は44.3%で昨年より好転していますが、まだ地方交付税など依存財源が55.7%で多いと言えます。歳出では生活扶助費など民生費が912億7800万円と全体の44.7%となっています。借金の返済である公債費は190億円と9.3%で、前年よりは下がっています。財政の健全性を表す財政指標を見ると、財政力指数は1.00以上が望ましいのですが、0.886と前年より下がっています。義務的経費の割合の経常収支比率は80%以下が望ましいとされますが、91.4%で前年より好転はしていますが、硬直化していると言えます。市債の残高は1655億8000万円と前年より40億6000万円ほど減額され、公債費の減額と合わせて財政健全化の努力は見えます。しかし経常収支比率や財政力指数を見ると、注視しなければなりません。

#### 事務事業評価結果

あなたが支える市民活動応援事業	継続
自治会連合会運営費等補助金	継続
宇曾山荘総務費	継続
孫育て応援事業	改善の上継続
子どもの居場所づくりネットワーク推進事業	改善の上継続
不妊治療費助成事業	継続
不登校児童生徒支援事業	拡充
家庭教育支援推進事業	改善の上継続
家族ふれあい宿泊体験事業	改善の上継続
祝祭の広場利活用検討事業	終期設定終了
新たなモビリティサービス事業	改善の上継続
住宅等ストック対策推進事業	改善の上継続
有害鳥獣対策事業	拡充
「チャレンジ創業!」市創業者応援事業	改善の上継続
アートを活かしたまちづくり推進会議補助金	継続

## 絆

きずな

発行所・大分市議会社会民主クラブ

住所・大分市荷揚町2番31号

## 9月議会

9月1日～27日まで議会が開催されました。今議会は、例年のように、今年度の補正予算と合わせて、昨年度の決算の審査も行いました。決算審査では、15の事業の事務事業評価も行いました。



9月議会

## 補正予算

今議会で承認された補正予算は、新型コロナウイルス感染症関連と、物価高騰の対策予算が主なものです。

## ◎市抗原検査センターの延長・・・10億8900万円

市の抗原検査センターの設置を来年3月末まで延長継続します。(大分駅前・鶴崎・植田・明野)



植田支所の抗原検査センター

## ◎新型コロナウイルス感染症対策業務体制確保事業・・・9億3860万円

下記の業務の体制を維持するために民間業務委託を行います。

- ①積極的疫学調査（濃厚接触者など調査）
- ②電話相談窓口
- ③陽性患者の搬送
- ④自宅療養者への食料等配送と医療支援

## ◎PCR検査等助成・・・3億1000万円

医療機関が行うPCR検査や抗原検査の委託料の追加計上です。

## ◎感染症入院患者治療費・・・1億2700万円

感染者の入院治療費の追加計上です。

## ◎漁業者事業継続支援事業・・・3100万円

今年4～6月の水揚げが、2019年の同じ月より19%減った漁業者に燃油購入費の2分の1の補助をします。

## ◎滝尾中部地区住環境整備事業・・・400万円の追加（全事業費は23億4000万円）

片島松岡線の踏切道をアンダーパスの立体交差にするために追加計上します。

## ◎佐野清掃センター維持管理事業・・・1億9800万円

燃料になるコークスの購入費の追加計上です。

## ◎新環境センター整備事業・・・3億9000万円

特別高圧線路の接続の工事負担金の計上です。



佐野清掃センター

## ◎市立学校・保育所等給食材料費高騰対策・・・9130万円

市立の小中学校と保育所等の給食材料費の高騰に伴う対策費です。

## 大分市政の情報コーナー

安心・安全そして笑顔のために！

- ①大分市抗原検査センターについて 来年3月末まで開設を延長 裏面「絆」参照  
現在の開設時間は、大分駅前（9～22時）、明野・鶴崎・植田（10～19時）です。
- ②自宅療養者への食料等配布と医療支援について 裏面「絆」参照  
食料品リストには、ごはん・麺類・缶詰類・丼やカレー・野菜ジュースなど18品目28個。これらを1名分（5日分）として段ボール箱に梱包して配送。要望に応じて、パルスオキシメーターや体温計、トイレトーパー、生理用品等も配送。
- ③子育て世帯訪問支援事業について 本年度の新規事業がいよいよ本格的にスタート  
○「大分市子育て世帯・ヤングケアラー等訪問支援事業」家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭に対し、家事育児支援ヘルパーを派遣する。その際の利用者負担額の軽減対策も行う。社会福祉法人等に委託して実施。  
○「大分市子ども等見守り訪問支援事業」要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等（ヤングケアラーを含む）に対して居宅を訪問し、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援等を通して見守り体制を強化する。利用者負担はなし。子育て支援を行う民間団体等に委託して実施。

〔甲斐の思い〕①明野検査所等の開設時刻については、設置当初と比べると開設時間が延長されています。これは私の所属する会派（社民クラブ）が市民の方々からの声を受け、大分市議会感染症対策会議を通して意見要望していたことが実現した結果です。これからも声をお寄せください。②感染者数が急拡大した7・8月には4300件ほどの配送実績あり。自宅療養の不安が少しでも軽減されるように、これからも注視します。感染者数が減少した今こそ、内容等を含めて検証することを求めています。③必要としている方々に適切な支援が届くために、対象者の把握がもっとも重要であり、情報共有の場と継続した支援を可能にする仕組みづくりを注視していきたい。ぜひとも情報や声をお寄せください。

## 教育関連情報

所属している文教常任委員会での審議内容を中心に！

- ①給食材料費高騰対策 対象者数は、約42500人。裏面「絆」参照  
食の安心安全と食材の安定的な取り扱いをこれまで同様に確保するため、市立の幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校等の給食材料費等の上昇分を公費で負担します。
- ②大分市「子ども市議会」 8/17(水)市議会本会議場等で開催  
小中学校及び義務教育学校の代表児童生徒81名（小学生54名、中学生27名）参加。10名の発言者が本会議場で代表して「今後の大分市の国際交流」、「二酸化炭素を減らす建築の工夫」などを質問。他の参加者も事前に質問内容等を担当する課と意見交換済み。
- ③大分市海部古墳資料館の管理・運営体制の見直し案について  
2006（平成18）年から指定管理者として運営している坂ノ市地区社会教育関係団体連絡協議会からの「スタッフの高齢化や新たな業務に対応する人材確保ができないので令和4年度末をもって管理者を辞退したい」との申し出を協議。当面の間、指定管理者制度から直営方式で運営を行う方向で検討することとなっている。



文教常任委員会で見学。栗野館長とボランティアガイドの指原元市議とともに。

〔甲斐の思い〕①これで給食費を値上げすることなく、これまで同様の給食が提供されます。ある試算では、一食あたり一人17円の値上げとなっており、この調理場では1日に16000円の負担増となっているとのこと。止まらない物価高騰のため今後も注視します。②それぞれの質問には子どもたち目線での思いのこもった視点・主張が感じられて、傍聴参加した私自身もとても勉強になりました。参加した児童生徒の皆さん、サポートした教職員の方々、対応した職員の方に改めて感謝申し上げます。③貴重な地域の歴史と文化を学べる施設です。近隣で国史跡への指定が答申された「**里官衙（さとかんが）遺跡**」との連携等も含めて、今後さらなる活用ができるように働きかけていきます。

あいさつ行動(\*^\_^\*)  
「7」のつく日を中心に  
週に1回程度  
「STOP地球温暖化」  
「NO WAR」の  
プラカードを持って  
判田校区3カ所&  
丹生校区で継続中



### ● 編集後記 ●

画像は日本文理大学生との意見交換を行っている様子です。議会活性化推進会議で提案している「若年層の市議会モニター」の一環としての活動です。今後も意見交換の予定がありますので、若い世代の声をしっかりと受けとめ、議会活動に活かしていきます。



9/10に開催した市政報告会の様子

ご意見、ご要望等がありましたら、気軽に声をかけてください！

090-4991-6412

## NO WAR 世界中の人々に平和な日常を！



引き続き「平和な日常を」と訴えなければならない状況に憤りを感じています。ロシアによるウクライナへの侵略がいまだに続いています。どんな理由を語ろうとも決して許されることではありません。しかしながらロシア、そしてウクライナの双方が「戦闘の継続」を主張している現状に対しては、国連が機能不全に陥ることなく、世界中の国々とともに「戦争終結」に向けて、英知を出し合うことが求められています。今こそ日本は「**憲法9条**」を中心とした**平和主義の理念**をもとに主体的な外交を展開すべきだと考えます。

私自身も含めて多くの方々は直接的にはどうすることもできないもどかしさを感じていると思いますが、ウクライナの現状に引き続き関心を持ち、**戦争は最大の人権侵害である**ことを訴え続けることが、自分たちに今できる行動です。

私自身も「**子どもたちをまんやかに**」において訴え続けます。未来ある子どもたちに**平和な世界**をつないでいけるように、**笑顔あふれる日々**となるように、これからもねばり強く取り組んでいきます。今後ともみなさんの声をお寄せ下さい。

☆10月発行の「えがお23号」に掲載できなかった市政及び教育関連の情報を書き出します。

### ①戸次地区防災拠点施設整備事業について

本年6月に契約した造成工事については、盛土材として大量の土砂が必要なため、西日本高速道路(株)と事前協議し、高速道路工事の残土を利用することになっていた。高速道路工事の着手がさまざまな事情により遅れ、造成工事への土砂搬入時期も遅れることになり、2022(R4)年度内完成が困難となった。このことから土地取得、建築工事(防災備蓄倉庫等)を終え、供用開始となる時期が2024(R6)年10月になる見込み(当初は同年4月だった)。

### ②大分市立中学校標準服 前号の「えがお22号」に内容は記載済み・参照

各学校の導入状況がまとまりました。2023(R5)年4月から着用予定です。

(1) 現行の制服を着用4校(すでにブレザータイプ等を着用)

(2) 「標準服」を着用20校(移行期間2~6年) (3) 両方を着用3校。

### 〔甲斐の思い〕

①今回の台風14号の影響も踏まえ、できるだけ早期に戸次地区に施設が完成するように注視します。②各学校の独自性と生徒の多様性に配慮した取り組みとなるように今後とも見守ります。

右の画像は、8/17(水)に行われた大分市「子ども市議会」の様子です。私たちが普段使っている本会議場に子どもたちが座り質問等を行いました。本会議場後方から傍聴し、「こんな風に見えるんだ」と我が身を振り返るとともに、わかりやすい言葉で訴えていくことの大切さを改めて感じた時間となりました。



## ☆子どもたちに豊かな教育を保障するために・・・今年も大分市長に要請☆

(少し前のできごとですが・・・)

5月16日(月)、大分市長に対して「義務教育費国庫負担率2分の1復元・制度拡充」等を要請する活動に今年も同行しました。「コロナ禍」での教育現場の実態と少人数学級の早期実現などの教育課題をさらにしっかりと認識してもらうとともに、子どもたちに豊かな教育を保障していくための教育予算確保も改めて要請しました。今後も教育現場で働くすべての教職員と子どもたちの「笑顔」につながるように、教育現場出身の議員として、具体的提案とともに取り組んでいきます。今後も多くの方々のご意見、ご要望をお聞かせください。



## ☆教育環境の整備について・情報と甲斐の思い☆ 訴えていたことが一步ずつ前進しています。

来年3月に完成予定の金池小学校の新校舎と体育館。体育館部分は地域の避難所も兼ねていることから防災面等を考慮して床面が2階からとなりました。さらに空調設備を設置します。そして新校舎内の特別教室(理科室や家庭科室等)にも空調設備が設置されます。もちろん、これまで同様に普通教室にも。これからを見据えて教育環境整備の方針が前進しています。2024(R6)年4月開校予定の大在東小学校も同様の内容で設計されています。これらのことは、教育現場からの切実な声とともに私たちも意見・提案していましたが、実現に向けて着実に前進中です。これらを先行事例として、できるだけ早期にすべての小中学校の特別教室や体育館に空調設備が設置されるように今後の予算編制(国や県からの補助金等の活用も含めて)や具体的な計画を常に注視しながら引き続き後押ししていきます。

明治小学校の教室不足等については、今議会で、明治地区在住議員の質問に対して、「通学区の再編等による対応、また校舎の全面改築による配置の見直しなど総合的に勘案した上で施設整備を検討する」と答弁がありました。すでに長期間に及んでいるプレハブ教室の使用、さらなるプレハブ教室の建設などの課題に対して、これまでも教育現場そして私たちが、課題解決に向けて具体的な内容を含めた抜本的な見直しについて訴えていました。さまざまな立場の議員からの声も後押しとなり、環境整備の方針が一步前進しました。私は、文教常任委員会の中で、明治小の早期検討方針決定・実施とともに、プレハブ教室の使用が長期に及んでいる滝尾小、小佐井小、判田小などの実例をあげ、教育環境整備の必要性を具体的に訴えました。



9/10(土)に実施した市政報告会后に撮影した平岩純子県議との画像です。来年3月の任期満了をもって5期20年間の県議としての活動を勇退されます。私も市議になっての6年間、さまざまご助言を頂きました。感謝申し上げます。残り半年間もこれまで以上に連帯していきます。そして、一緒に写っている「みたらいともひろ」さんを全力で応援していきます。

甲斐たかゆき・連絡先 (判田台南在住)

090-4991-6412

FAX 番号は 097-597-6889

ご意見・ご要望等はこちらでも。